



# こいのぼり つかまえた！！

今日は風が強くて、こいのぼりがよく泳ぎます。

クラスの前に吊るしたこいのぼりが、あまりにも楽しそうに泳ぐものだから、いてもたってもいられなくなってきた、捕まえてみようと思うその気持ち、ちょっと分かります。

上手く捕まえられたかな。



.....

年長になると、製作活動にも  
こだわりが出てきます。  
腕時計を作った女の子。  
嬉しそうにこだわりポイントを  
教えてくれました。

「ねえねえ！いまなんじ？って  
聞いて！」と言われたので  
「いま、なんじ？」と尋ねると、  
元気な声で「3時！」と教えて  
くれました。

**「いま、なんじ？」  
ってきいて**

R3.4.26 綾南幼稚園

# 作ったあとは・・・

年少組がこいのぼりを作りました。  
丸いシールを目と鱗に貼り、それぞれ  
個性豊かなこいのぼりができました。

作ったあと、部屋に飾るのもいいけれど  
せっかくなら外を泳がせたいのが子ども心。

担任はその思いをキャッチして、さっそく  
外に出かけました。

自分のこいのぼりに、ブランコや滑り台を紹介  
してあげる姿がとっても可愛らしかったです。

まさに歌詞の中の「おもしろそうに、およいでる～♪」  
が見られた瞬間です。

R3.4.27 綾南幼稚園



# 保育者の工夫

少しだけ保育の裏側の話です。

年少組のこいのぼり製作。

メインの活動はウロコに見立てたシール貼りです。

このシール、子どもがはがしやすいように  
少しだけ裏の台紙を切っています。

こうすることで、自分の力で製作を進めること  
ができ、子どもは“自分が作ったこいのぼり”とい  
ふ気持ちを持つことができます。

でも1人10枚シールを使うとしても、1クラスで  
150枚。保育者の努力には頭が下がります。



# ねばり強さとは？

滑り台を下から登ることに夢中の男の子。  
何度も走ってきては滑り落ち、けれどもめげずに  
挑戦し続けます。

「滑り台は上から滑るものだよ」という野暮な言葉  
は飲み込んで、見守ります。

何気ない風景ですが、自分で決めたことに最後まで  
挑み続けることで粘り強さが、そしてそれを誰かに  
認めてもらうことで自己肯定感がそれぞれ育って  
いきます。

さあ、無事に登れた時の表情（左の写真）にご注目。  
彼は一体、どんな気持ちでいるのでしょうか。



A photograph of children at a kindergarten playing in a muddy puddle. In the foreground, two girls in white school uniforms with red bows and purple shorts are crouching and playing with the mud. One girl is wearing a blue and green sneaker with a white 'N' logo. In the background, other children are also playing in the mud, and a teacher or staff member in a blue uniform and cap is visible. The setting is an outdoor courtyard with a building and a blue slide in the background.

# 砂と水と

雨上がりの翌日は、ベチャベチャの水が混じった砂が園庭の至るところにあります。

砂と水のように可變的なもの（どんな形にも変わるもの）で遊ぶことで想像力が磨かれたり、工夫して遊ぶ力が身についたりします。

今日の砂と水、写真の2人には『山手線の線路』に見えたようです。

2人の頭の中の線路が繋がる瞬間です。